

主題名 いのちのすばらしさ

教材名 みんな みんな いきている

《ねらい》 内容項目【D 生命の尊さ】

自分が生きて成長していることの喜びを実感し、かけがえのない命を大切にしようとする。

《ねらいとする道徳的価値》

健康に生活している私たちにとっては、自分が生きていることを感じ取り、そこに喜びを見出すことは、とても難しいことである。しかし、このことは、命の尊さを指導する上で、根本となる大切なことである。そこで、低学年の時期に、「嬉しかったこと」や「悲しかったこと」「これからしてみたいこと」などを考えさせることで、「輝く命」に気付かせ、命の尊さを知る根本を育てていくことが重要である。また、自分の命が輝けるように、多くの人が支えてくれていることに気付かせることで、さらに自分の命の尊さに気付かせたい。

《教材について》

本教材は、「手のひらを太陽に」の歌詞から、命の輝きを具体的に感じ取ることができるとともに、日常では当たり前と感情を感じる感情を、生きているからこそ感じることでできる素晴らしい感情であると自覚することができる教材である。作詞者のやなせたかしさんの「みんなが元気に過ごしてほしい」という思いを通し、子どもたちを応援してくれている人があることを考えさせることもできる。

《学習の流れ》

「手のひらを太陽に」の歌詞を読み、歌のイメージを膨らませる。

教材「みんな みんな いきている」を読み、話し合う。

- 「生きている」と思うときは、どんなときですか。
- 嬉しかったり、悲しかったりしたことは、どんなことですか。
- ◎ 命が輝いているのは、どんなときですか。

ぜひ、ご家庭でもこの内容について話し合ってみてください。

命が輝けるように応援してくれている人を見付け、発表する。

「命とは〇〇だ」に入る言葉を考え、「命を大切にする」とは、具体的にどうすることなのかを考える。